

利根新報 号外

— 発行 —
 利根新報編集部
 編集発行者 崎山 勝功
 〒270-1326 千葉県印西市木下1661-18(2F)
 電話・FAX 0476-77-3846
 利根新報 WEB版
 http://toneshinpo.com



中澤俊介市議が出馬

印西市長選

「不退転の覚悟で臨む」中澤氏

2024年7月27日に任期満了を迎える印西市長選挙を前に、中澤俊介・印西市議(57)が12月19日、印西市内の事務所で記者会見を開き、印西市長選へ無所属での立候補を表明した。

「個人・団体を問わず、多くの方々に出馬の要請を頂いた。結果であり、私にチャレンジとなることから、不退転の覚悟で臨む」と、印西市長選への立候補を表明した。

その上で中澤氏は「私は印西で生まれ、印西で育ち、印西で暮らし働いています。だれよりも、この街を知り尽くしています。印西市役所での15年間の行政経験、市議会議員5期の政治経験、市議会議長を務め、市政を必ず前に進める決意です」と、行政経験や政治経験の豊富さを強調し、即戦力として市政の舵取りを担う姿勢をアピールした。

4月頃に公約発表

さらに中澤氏は「若者には夢と希望を、子育て世代や現役世代には安心と安全を、高齢者には生きがいや豊かさを実感してもらえ、街にしたい」と訴えた上で、2016年の市長選挙の際に掲げた公約のうち、現時点で実現されていない「地産地消の食材を使い質にもこだわった学校給食の完全無償化」「都市計画税の減税」「花火大会の復活」の3点を公約に掲げた。

市民からの声を反映させ、4月頃に記者会見で改めて公約を発表する予定。

デジタル技術を活用した「デジタルラーバン都市構想」を提唱する中澤氏は、将来的にはグループ社と協同で市

内全域に5G・6Gの次世代高速情報通信網や無料Wi-Fi整備を進めると同時に、様々な民間投資を呼び込み、ICT(情報通信技術)を駆使し、最高水準の住環境整備を目指し「起業するのなら印西市、子育てするのなら印西市、終の棲家も印西市」を目標に掲げた。

報道各社との質疑では、現在の板倉正直市長の市政の課題を「税収増の恩恵が幅広く市民に届いていない。子育て世代や現役世代に投資すべき政策がうまく機能していない」と述べた上で「私としてはスピード感をもって税収増の恩恵を確実に市民に届けていきたい」との考えを示した。



印西市長選挙への立候補を表明する中澤俊介・印西市議